HASEPRO MAGICAL ART SHEET

リアルカーボンさながらの質感を リーズナブルなアートシートで再現

マジカルアートシート

カーボン繊維の模様に魅了される読者諸兄は少なくない。スポーティなイメージに変えられるばかりか、質感までも昇華させるマジカルアートシートを紹介しよう。

問い合わせ●株式会社ハセ・プロ
TEL●06-6751-2779
URL●http://www.hasepro.com/hasecar/public_html

ルアートシート」の特徴は、伸縮性に優れるということである。カーボン柄にしたいと思ったアイテムが、たとえ曲線を描いていても、「マジカルアートシート」なら容易にきれいに貼ることができる。もちろん本物のカーボン繊維を使った「マジカルカーボン」でも曲面を貼ることはできる。しかし、内装パネルなどを良く見てみると、90度くらい折れ曲がるのは当たりで、中には3次元に複雑な形状をしている場合もある。そうなると、やはり「マジカルアートシート」の出番である。

ということで、撮影中に早速プリウスのドアミラーに施工をしてもらった。平面の部分が一切ない難易度の高いアイテムだ。

「いやー難しいねぇ」といいながら作業を行ってくれたのは、何と長谷川社長。施工のコツや製品の特徴を説明しつつ、あっという間にカーボン仕様のドアミラーをつくってしまった。

「マジカルアートシート」には、熱を加えると伸びる性質があるので、曲面のきつい場所や裏側まで回り込ませたい部分では、効果的。ドライヤーなどで温めながら作業をすると効率がイイ。もちろん温め過ぎはカーボン模様が歪んだりするのでNGだが、それほど神経質にならなくても平気だ。

仕上がりの満足度が高いのはもちろん、耐久性も高いので安心して外装パーツにも使用することができる使い勝手の良いシートだ。

新感覚ドレスアップ リムステッカー

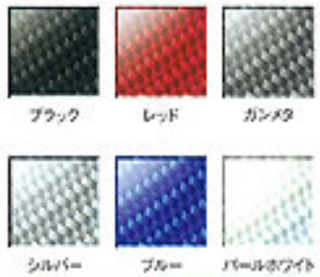
ホイールのデザインに飽きてきたら、見る角度によって色を変えるリムステッカーはいかがだろう。全8カラーを揃える。

Mサイズ (300×450mm)
¥2,980 (税込)

Lサイズ (600×450mm)
¥4,980 (税込)

マジカルアートシートにはふたつのサイズと8色のカラーバリエーションがある。Lサイズなら、大きなアイテムまで貼り付けることができる。また、価格がリーズナブルなのもうれしい。ちなみにマジカルカーボンのLサイズ(480×600mm)は13,440円なので、かなりお買い得な価格設定だろう。

カラーラインアップ



施工の手順

1 貼り付けるアイテムは、クルマから取り外してまず脱脂を行う。表面に汚れが残っていると、仕上がりに影響する。

2 型りなくなると取り返しが付かないので、カットする時は大きい方が安心。また、引っ張って伸ばすのでぴったり過ぎるのはやりずらい。

3 剥離シートは一気にはがしてしまってOK。また、ミラーカバー程度の大きさなら、霧吹きで水を吹きかけなくてもいいものこと。

4 中央部分から放射状に貼り付けるのは、空気を抜きながら作業を進めるから。何度でもはがすことができるので気長に行いたい。

8 プリウスのドアミラーカバーのようにはめ込み式の場合、裏面の始末をしっかりやっておかないと、はがれなくなってしまうこともある。

7 さすが社長と思ったのがこの裏面までの処理。こういった見えない部分までしっかり貼り付けることで、耐久性が上がる。

6 折り返した部分は5mmほど残してカットする。雑にカットをするとギザギザになってはがれる原因になるので確実に。

5 ドアミラーは奥に行くほど曲面がきつくなる。とくに4隅は少しずつ確実に。ドライヤーなどで温める場合も、徐々に行うこと。

マジカルシリーズ

ドアプロテクター
マジカルカーボンを軟質系素材でコーティング。カラーは4色を用意する。

チョイス・ジャケット
純国産にこだわったハイクオリティなシートカバー。張替と間違うほどだ。

ハンドル・ジャケット
高級ウレタン系合皮を採用。カーボン感をリアルに再現したハンドルカバーだ。

赤道直下の灼熱地獄 マレーシア・ラリーを7位で完走

4月24日-25日に開催された、2010年FIA開幕戦「マレーシア・ラリー」で見事7位完走を果たした。もちろんマジカルカーボンの耐久性も証明。

リーズナブルな価格でも仕上がりと耐久性に満足

内外装のカスタムにカーボン柄は外せない。デザインのワンポイントに使うのも良いし、丸ごとカーボン柄にしてしまうのもアリだ。メーカー純正でも、木目パネルを華麗に金属調やカーボン調は定番な演出だ。とはいえ、木目でも金属&カーボンでも、本物のマテリアルを使用するにはコストが加工技術の問題で、それらしい加工が施されたものばかりだ。

今回紹介する「マジカルアートシート」もリアルカーボンではなく、カーボン調ではあるものの、そのクオリティの高さには目を見張るものがある。実は、同社のラインアップには「マジカルカーボン」という製品がある。これは本物のカーボン繊維をカッティングシートのように扱えるよう、伸縮性と接着力を持たせたシート状のもの。本物のカーボン繊物なので、強度や表面の凹凸などの質感までもがまさに本物なのだ。

そんな本物と比べて「マジカルアートシート」は何となくカーボン柄のそれっぽい偽物なのか？というと、表面の光沢が異なるので見分けはつくものの、触り心地や表面の凹凸などの質感で見劣りすることはない。「マジカルアートシート」も本物のカーボンですよ。といわれていたら信じてしまうかもしれない。

そんな本物さながらの「マジカ